

交 規 第 6 . 1 9 号

令和 3 年 10 月 18 日

堺市健康福祉部

地域共生推進課長 様

大 阪 府 公 安 委 員 会

交通安全特定事業計画の送付について

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号）
第36条第5項の規定により、交通安全特定事業計画を別添のとおり送付します。

以 上

（連絡先 大阪府府警察本部交通部 交通規制課計画係 電話 06(6943)1234 内線51662）

堺市泉北高速鉄道母・美木多駅周辺地区交通安全特定事業計画

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第3条の規定による基本方針及び第36条の規定に基づき、また、堺市バリアフリー基本構想に即して、泉北高速鉄道母・美木多駅周辺重点整備地区交通安全特定事業計画を下記のとおり定める。

記

- 1 交通安全特定事業を実施する道路の区間（別添周辺地図参照）
 - (1) 南堺警察署から母文化会館、堺市南区役所、泉北高速鉄道母・美木多駅を経て原山公園までについての道路の区間
 - ア 市道桃山台62号線（南堺警察署から堺市南区役所、母美木多駅前交差点を経て原山公園北交差点まで）
 - イ 市道桃山台64号線（母文化会館南西側道路）
 - ウ 市道桃山台61号線（堺市南区役所から市道桃山台62号線まで）
 - エ 市道母美木多駅前南広場線（泉北高速鉄道母・美木多駅前ロータリー）
 - (2) 府立泉北高等支援学校から社会医療法人啓仁会堺咲花病院までについての道路の区間
市道赤坂台庭代台線（泉北3号線）
- 2 前号の道路の区間ごとに実施すべき交通安全特定事業の内容及び実施予定期間
 - (1) 実施事業内容
 - ア 既設信号機への歩行者信号灯器の設置、音響機能の付加装置等の整備及び高齢者や障害者等が通常の横断に要する歩行者用信号秒数の確保
 - イ 高輝度の反射材料等を用いた道路標識及び道路標示の設置
 - ウ 横断歩道上にエスコートゾーンの設置
 - エ 移動円滑化を阻害する違法駐車等を防止するための事業を重点的に推進
 - (2) 実施予定期間
令和7年度まで
- 3 その他交通安全特定事業の実施に際し配慮すべき重要事項
 - (1) 高齢者、障害者等からの意見の反映
上記事業の実施に当たっては、学識経験者、障害者団体、地域住民代表、公共交通事業者及び関係行政機関等で構成する堺市バリアフリー化検討委員会での協議や堺市パブリックコメントの実施結果等を参考に事業への反映を図る。
 - (2) 高齢者、障害者等への情報提供
 - ア 歩車分離式信号機についてはその旨が分かるよう表示板を設置するとともに、押しボタン設置に当たっては、その位置を分かりやすいように配置する。
 - イ 押ボタンの位置等が分かりやすいよう、道路管理者の点字ブロック整備等と調整を図りながら安全施設の設置に当たる。
 - (3) 関係機関との連携強化
大阪府道路交通環境安全推進連絡会議において事業の検討及び点検を行うとともに、事業実施に当たっては、道路管理者の道路整備と十分調整を図り実施する。
 - (4) 周辺の交通規制等との整合性の確保
信号機の整備にあたっては、周辺の既設信号機及び横断歩道の設置状況を把握し、隣接信号機との系統制御を確保するとともに、歩行者の動線を調査し、必要に応じて信号機、横断歩道の移設等を検討する。

また、交通規制の実施に当たっては、周辺の交通規制について、交通流の整序化が図られるよう、周辺道路へ与える影響を調査し、必要な周辺の交通規制の見直しを実施する。

(5) 違法駐車行為の防止のための事業における配意事項

違法駐車取締り、広報啓発活動等の違法駐車行為の防止に資する事業を関係機関等と連携して、重点的かつ計画的に実施する。

堺市バリアフリー基本構想（梅・美木多駅周辺地区）中域図



梅・美木多駅周辺地区生活関連経路



堺市JR津久野駅周辺地区交通安全特定事業計画

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第3条の規定による基本方針及び第36条の規定に基づき、また、堺市バリアフリー基本構想に即して、JR津久野駅周辺重点整備地区交通安全特定事業計画を下記のとおり定める。

記

- 1 交通安全特定事業を実施する道路の区間（別添周辺地図参照）
 - (1) イトーヨーカドー津久野店からJR津久野駅までについての道路の区間
市道下田津久野2号線
 - (2) 大池前交差点から堺市立総合医療センターを経てJR津久野駅までについての道路の区間
市道津久野18号線
 - (3) 家原大池体育館から大池前交差点までについての道路の区間
府道大阪高石線
- 2 前号の道路の区間ごとに実施すべき交通安全特定事業の内容及び実施予定期間
 - (1) 実施事業内容
 - ア 既設信号機への歩行者信号灯器の設置、音響機能の付加装置等の整備及び高齢者や障害者等が通常の横断に要する歩行者用信号秒数の確保
 - イ 高輝度の反射材料等を用いた道路標識及び道路標示の設置
 - ウ 移動円滑化を阻害する違法駐車等を防止するための事業を重点的に推進
 - (2) 実施予定期間
令和7年度まで
- 3 その他交通安全特定事業の実施に際し配慮すべき重要事項
 - (1) 高齢者、障害者等からの意見の反映
上記事業の実施に当たっては、学識経験者、障害者団体、地域住民代表、公共交通事業者及び関係行政機関等で構成する堺市バリアフリー化検討委員会での協議や堺市パブリックコメントの実施結果等を参考に事業への反映を図る。
 - (2) 高齢者、障害者等への情報提供
 - ア 歩車分離式信号機についてはその旨が分かるよう表示板を設置するとともに、押しボタン設置に当たっては、その位置を分かりやすいように配置する。
 - イ 押ボタンの位置等が分かりやすいよう、道路管理者の点字ブロック整備等と調整を図りながら安全施設の設置に当たる。
 - (3) 関係機関との連携強化
大阪府道路交通環境安全推進連絡会議において事業の検討及び点検を行うとともに、事業実施に当たっては、道路管理者の道路整備と十分調整を図り実施する。
 - (4) 周辺の交通規制等との整合性の確保
信号機の整備にあたっては、周辺の既設信号機及び横断歩道の設置状況を把握し、隣接信号機との系統制御を確保するとともに、歩行者の動線を調査し、必要に応じて信号機、横断歩道の移設等を検討する。
また、交通規制の実施に当たっては、周辺の交通規制について、交通流の整序化が図られるよう、周辺道路へ与える影響を調査し、必要な周辺の交通規制の見直しを実施する。
 - (5) 違法駐車行為の防止ための事業における配慮事項
違法駐車取締り、広報啓発活動等の違法駐車行為の防止に資する事業を関係機関等と連携して、重点的かつ計画的に実施する。

堺市バリアフリー基本構想（津久野駅周辺地区）中域図



津久野駅周辺地区生活関連経路

